

Days

ダイジェスト版

『Days』完全版冊子は
下記のイベントでお配りします

●神奈川私立男子中学校フェア
6/10 ★栄光学園で開催されます

●学校説明会(申し込み制)
9/22 10/6 11/26

●オープンスクール
10/27

※各イベントの詳細は学園のホームページを
ご覧ください

Days

ダイジェスト版

“Days”では、栄光学園の校内誌『学園通信』に掲載された生徒達の作文やスピーチを紹介しています。生徒達の生き生きとした日々をお楽しみください。

CONTENTS

<u>新入生代表の言葉</u>	P.01
<u>オリエンテーションキャンプ</u>	P.04
<u>中2・山のキャンプ</u>	P.07
<u>歩く大会 俳句集</u>	P.09
<u>囲碁将棋部・関東高校将棋リーグ戦</u> <u>A級三連覇!</u>	P.10
<u>沖縄修学旅行(1日目)</u>	P.16

◎新入生代表の言葉

僕達、栄光学園第71期生は真新しい木のおおいがする新校舎と、美しい大階段と共に入学の春を迎え、これから始まる学校生活に期待がふくらんでいます。新しい学問との出会いは驚くことがたくさんあると思います。

授業をよく聞いて、理解できるように、積極的に参加したいと思います。これからの中学校生活ではたくさんの努力をし、新しい環境への不安もありますが、立派に成長していきたいと思います。

僕は将来、人を助けられるロボットを造りたいと考えています。なぜなら六年前の東日本大震災や、去年の熊本地震などの災害では人が立ち入ることが出来ず、助けることのできなかつた人が大勢いました。その時に災害時に救助するロボットがあれば、少しでも多くの命を助けられると思ったからです。だから災害時の救助活動や、人手不足の老人ホームなどでのボランティア活動で社会に貢献できるようなロボット造りをしたいと思っています。ロボットを造るときには、身近にいる人とは違って、助けるべき相手が見えにくい上、さらにその相手が何を必要としているのかということまで考えなければなりません。それができて

初めて人のためになるロボットを造ることが出来るようになると思います。そのような相手のことを考える力が僕にはまだ足りないと思うので、そのためにこの学校に通う六年間でぜひ伸ばしたい能力が二つあります。

一つ目は観察力です。小学校の時、理科の実験で車とモーターのキットを使った実験がありました。まずどのような動きをするのか大まかな予想をします。次に実際にモーターなどの部品を見て、触れて、自分の予想をもう一度考え直します。そして実験をして、結果から車の移動距離を長くするにはどうしたらよいかを考えます。最後に実験で分かったことを自分の予想と比較して、理解します。この授業から僕は実験が失敗した原因は装置の観察不足だと考えました。また次の授業で実験の振り返りをしたのですが、車の動きにカーブを加えるにはどうしたらいいのだろうという新しい疑問が生まれました。考えて、理解して、また疑問が生まれる、考える、理解していく…といった循環が生まれ、これより毎日の生活の中に発見や、新しい受けとめ方が生まれると思います。

二つ目は柔軟な発想力です。僕が楽しみにしている「栄光祭」や「体育祭」などの学校行事に積極的にかかわることで、伸ばすことができる能力

だと考えています。自分とは違う他者の意見を聞くことができ、物事を様々な角度から見ることができるきっかけが得られるからです。

柔軟な発想力を得ることができると、前に述べたロボット造りの時に、災害の種類や場所、時間などの違いにも対応できるような新しい機能を持ったロボットを造ることができるようになります。新しいロボットに必要な条件も考えることができます。足場が悪い現場でも運び込める、軽量で運びやすく、誰でも簡単に操作ができるような便利のものを造りたいと思います。

僕の思い描く学校生活は栄光学園の広い校舎を思いっきりかけまわり、新校舎で友達と一緒に毎日の休み時間を遊んで過ごしたり、分からなかった問題を一緒に考えたりする時間をたくさん持つことです。多くの友達、先輩、後輩との絆を深めて六年間という限られた貴重な時間を力一杯楽しみたいと思います。これからの六年間には、僕がまだ経験したことのないものがたくさん待っているはずです。友人、先生達との出会い、これらの経験にともなった出会いを大切に、また大いに楽しみにしていきたいと思います。学校の先生方、諸先輩方、保護者の方々、六年間がんばる僕らに応援とご指導をどうぞよろしくお願ひいたします。

◎オリエンテーションキャンプ

一日目の午後の日のかたむく頃のことには忘れられない。かなり広いピッチでほかのクラスの人とも混ざりながらサッカーをした。体をぶつけられ、声をかけられ、かけ返し、息を合わせてともに走る。仲間がミスをすれば、それを誰かが取り返す。惜しいプレーがあれば、みんなが「ドンマイ!」「ナイス!」と声をかける。

みんながみんな周りの事を考えてなにかしていた。僕は早くも71期の協調性に気付き、「この学校に来てよかった」と思ってしまった。

また、あるお父さんの言葉を思い出した。「一緒にボールをけて、体をぶつけあうことで友情は作られていく」。

さらに、入学式でH先輩は言った。「オリエンテーションキャンプをきっかけに、仲良くなった」。

やはりこの言葉の通りだった。「サッカー」を通して他のクラスの人や、普段あまり話さない人とも話すことができたのだ。みんなで一点をとった時には（たとえ自分が決めていなくても）ものすごくスカッとした。またあのメンバーでサッカーしたいと思った。みんなでサッカーできて嬉

しかっし、楽しかったし、面白かった。

これからの栄光生活がものすごく楽しみになった。

●オリエンテーションキャンプ

オリエンテーションキャンプ一日目。まだまだ友達が少なく、体も心も石のようにがちがちになっていた。

グループで一つの挑戦をする。これがとても楽しかった。ロープを使って、向こう側の台に全員乗り移る。ただし、落ちたらやり直し。何度も失敗した。手が滑ったり、台から落ちたり。でもあきらめなかった。何度も何度も挑戦した。みんなも、自分も。

「あと10分！」

これがラスト。お互い声を掛け合いながら、自分のことに集中した。心臓がバクバク鳴り出した。「成功するかな？」ぼくは最後になった。緊張が止まらなかった。

呼吸を整えて、集中して、勇気を振り絞った。そして、台に思い切って向かった。

みんながぼくを引っ張ってくれた。

無事、台に乗り、成功した。

みんなが引っ張ってくれたから、成功したのだ。

たった一本のロープとたった一つの台で、ぼくたちの間に素晴らしい絆が生まれた、とぼくは思った。

◎中2・山のキャンプ

僕はキャンプ委員としてこのキャンプへと参加した。1日目、一番つらかったのは、ヒュッテを目前にしたラストスパートである。普段であればそこまで重いとは思わない食料品が疲れた僕の体にずしりとのしかかった。幸いヒルにかまれてはいなかった。しかし、後ろを歩いていた人の肩が血だらけになっていたのにはびっくりした。

ヒュッテでは昼と夜の差が大きかった。昼間は暑い体を川で冷やしながら遊ぶことができ、周りも明るかった。だが、夜の暗さは夕食中に急激におとずれた。ライトをつけなければ周りがよく見えなくなり、ヒュッテにも、灯油のランプがついた。そしてふとんがヒュッテのさして大きいわけではない床に、次々と敷かれ始めた。だが皆、はやく自分の寝床を確保し遊びたいので、なかなかうまくいかない。結局、うまく数が合わず、僕は押入れの中で寝ることとなった。普段とだいぶ違ったが、それもそれでよかったと思う。

2日目は朝から雨が降り、午前中は朝食とランプくらいしかできなかった。しかし、午後になり晴れ始めたので川に入ることとなった。1日目から友達とつくっていたダムは1先生の提案で、

水を更にせきとめて、お風呂とした。

楽しいヒュッテ2日目も無事終了して、3日目となった。おにぎりをつくり、下山するのだが、なんと、高校生の先輩がおいなりさん用の油揚げをつくってくれていた。僕は1つ頂いたがとてもおいしかった。下山はヤビツ峠までをだらだらと長く歩き、蓑毛までは、みんな走るように降りていった。

僕はこのキャンプで電気製品のない生活を初めて体験した。このことで、普段の生活の便利さ、ありがたさを知った。また丹沢には行ってみたいと思う。

●歩く大会 俳句集

10月30日、例年通り歩く大会が行われました。朝8時過ぎに集合し、新江ノ島水族館から小田原城のゴールまで歩きました。その様子を初めて参加した中学一年生の俳句で紹介します。

当日の天気は曇りで、気温があまり上がりませんでした。海沿いでは冷たい風も吹いて、冬の気配を感じた生徒もいたようです。

秋風に吹かれて歩く約千人
秋の空湘南色に染まりけり
松並木大名行列歩く秋
木枯らしを背にうけ歩く男たち
渡り鳥地を這う人々亀と見る
あと少し沈黙続く冬の空
秋空が染まる前にゴールしろ
小田原で空を仰げば薄紅葉
古来より歩かれてきた冬の町
秋の暮れ小田原城がカラフルに
小田原城空に浮かぶはいわし雲

●囲碁将棋部・関東高校リーグ戦 A級三連覇！

関東リーグ戦についての感想だが、自分としては不本意な展開になることが多かった。不戦勝を除いた4局中、3局で中盤に敗勢に陥り、全ての対局で終局がチームの中では1番目か2番目に遅かった。苦しい時間が長かったが、これにはきっと理由がある。この俺が本気を出すと圧勝してしまつてつまらないじゃないか。そのような理由で俺の脳が楽勝を望んでいなかったがために、体内の化学物質のバランスを調整し、思考回路に敢えてエラーを生じさせることによって途中まで不利になるような一手を無意識的に選択させていたに違いない、などという矛盾点溢れる考え方によって悔しさを紛らわせることになってしまった（実際は対局した相手に強い人が多かったのと、何より自分の実力不足が原因）。

ところで、最も印象に残ったのが武蔵高校との最終局である。中盤で攻めを切らされて敗勢になった。攻めというよりもはや自爆、敵駒尊重行為でしかなかった。しかし、敗勢になってからが僕の本領発揮である。人によっては諦めて投了しそうな局面だったが、そのようなどん底から何度

這い上がってきたことか。敗勢になって粘りまくるのはネット対局でも日常茶飯事だぞ。僕にとっては。諦めるにはまだ早い。

それから僕はひたすら粘りに粘った。駒を自陣に引きつけ、自陣に何度も駒を打った。光が全く見えない。しかし、俺は自分に負けたくない。夢を諦めるくらいなら俺は人間をやめるぞ。鋼の精神だと？甘い。俺の精神は中性子星の表面並みの強度を誇っているのだ。ははは…

こうして粘っているうちに相手にも疲れが出てきたのか、ミスが出てきた。形勢は徐々に接近し、ついに逆転の瞬間を迎えた。しかし、ここで第2の壁が僕の目の前に立ちはだかった。…時間がない。粘る手を探す為に時間をかなり消費していた。気が付いたら持ち時間残り2分半。これが0になったら負けである。しかも、局面を見るとまだまだ大変で、決着がつくのはだいぶ先になりそうだ。まずい。優勢になったとしても時間が切れる。しかし素早く指そうとすると再び自爆して負けになるかもしれない。さあどうする。

並みの戦士ならば、前述の2つの展開のどちらかになっていただろう。しかし、この俺は中性子星の精神と共に最速のcpuを持つ戦士だ。ネット対局でも、何度も相手の時間を切らせて勝って

きた。時間切れで決着がつくときは、9割方相手の時間が切れている。この演算能力なら相手玉を2分で詰ませるなど簡単だ（実際はかなり焦った）。そのためには…必殺、1手3秒以内指しだ！ ははは、相手も動揺しているだろう…それが狙いだ！…その約50手後。気が付けば相手玉が詰んでいた。

こうして苦しい将棋を粘って勝つことができ、何とか4勝1敗で乗り切れた。他のメンバーも勝ち星を稼いでくれたり、重要なところで勝ってくれたりしたおかげで優勝できた。まさに仲間で勝ち取った優勝である。3年間関東リーグに出場し、3連覇できたのは望外の結果であり、誇りに思う。特に今回の大会は、最初から5人とも優勝できることは夢にも思わず、リーグ内で最下位を免れることができたなら良しという感じだったのだ。

最後に、6年間部活動でお世話になった！先生をはじめ顧問の先生方、囲碁将棋部の仲間たち、卒業した先輩方、皆さんに心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。囲碁将棋部で活動できて本当に良かったと思います。先輩方や、66期の囲碁将棋部の仲間たちと過ごした日々が僕にとっては最高の思い出です。笑いに溢れ、楽しかった囲碁将棋部での日々が僕にとっては心の支えでし

た。卒業しても、栄光祭などで後輩の活躍する姿を見るために、66期の仲間と共に「囲碁将棋部の部屋」に行こうと考えています。

●沖縄修学旅行（1日目）

空港の自動ドアを抜けると南国であった。午前5時半、相模原市の気温5.7°Cからの、那覇市11時53分現在、21.2°C。手持ちのウルトラライトダウンが一瞬にして無用の長物に成り下がった今、早速向かうは那覇空港の少し南、瀬長島にある「ウミカジテラス」である。この島は本島と地続きになっていてバスで手軽に上陸できるのだ。今回の自由行動メンバー（といっても僕のバンドメンバーなのだが）の中でここを推しに推した者がおり、まさに沖縄のリゾート感を味わうには最適のロケーションだった。青い空、輝く海、純白のコテージ、といった沖縄の常套句がぴったりのこの場所で、駆け足ではあったが南国気分を満喫したのだった。スマホのストレージはみるみる写真で埋まっていった。

旅で重要なのはやはり、食べ物。今回も修学旅行だからと言って手を抜くつもりはなかった。どうせなら美味しい名物を食ってやろうと意気込み、次なる目的地「そば楚辺」へ。沖縄を見渡せるゆいレールに揺られ、最寄り駅壺川に到着したのはすでに2時近く。空腹は限界に近く、口数も減っていく。そんな僕たちに燃料として投下される三

枚肉そば。香りですでに美味しい。間違いない。そして一口。あっさりとしたスープにがっつりとした豚の脂ともっちりとしたそばが絡む。こうなると高校生、止まりません。沖縄の刺激的な調味料コーレーグースを交えながら沖縄そばのうま味を堪能する。この世の沖縄そばは数知れど、かなり上位なのではないか。というかこのお店、人気投票で県内2位なんですけどね実は。

さて、再びゆいレールを使い終点の首里まで進む。首里。そう、首里城の首里である。16:30首里城守礼門集合ということで1時間半ほど時間はあって、行こうと思えば城内にも入れる、が、今回は他に行きたいところがあった。皆が進むメインストリートを逸れ、たどり着いたのは首里城の裏側、石畳道。16世紀に整備された昔ながらの石畳が広範囲にわたって残っていて、行けども行けども情緒あふれる町並みが広がっている。赤い瓦の民家やシーサー、入り組んだ街路にひっそり佇む古井戸、といった沖縄本島ではあまり見られなくなっているという古き良き沖縄の姿がまざまざと眼前に現れた。というかここは人も少なくてかなりおススメです。いやホントに行ったほうが良い。他にもお土産屋さんの猛烈なプッシュに遭ったり、コンビニでご当地物を散々探し回った

りと沖縄の風情を存分に味わった1日目の自由行動はこうして幕を閉じた。

1日目の自由行動はこんな風に、自分たちの好きなように好きなところに好きな時間いられる。食べ歩くもよし、歩き回るもよし、レンタサイクルで沖縄の風を感じるなんていうのもありかも知れない。これから修学旅行に行くであろう67期以下の皆も、せっかくだからオリジナリティ溢れるコースを計画してほしい。

『Days』完全版冊子は
下記のイベントでお配りします

●**神奈川私立男子中学校フェア**

6/10(日) ★栄光学園で開催されます

●**学校説明会** (申し込み制)

9/22(土) 10/6(土) 11/26(月)

●**オープンスクール**

10/27(土)

※各イベントの詳細は学園のホームページを
ご覧ください

[\[WEB\] 栄光学園ウェブサイト](#)

[\[WEB\] フェイスブック](#)